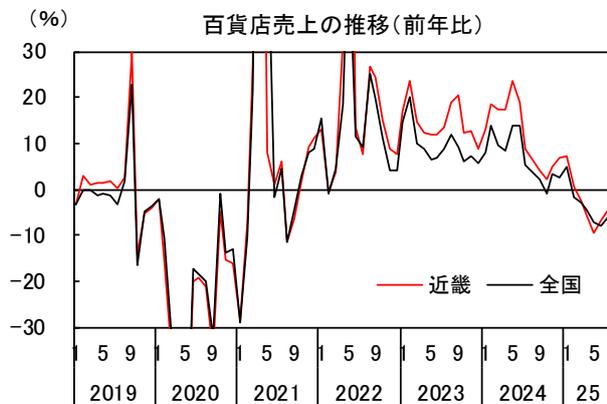
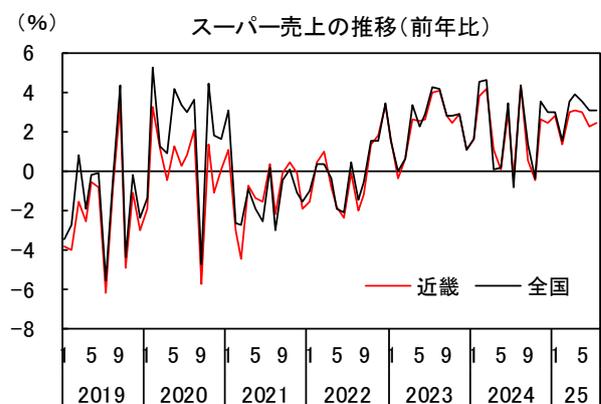


関西の景気トピックス【消費関連（25年7月）】

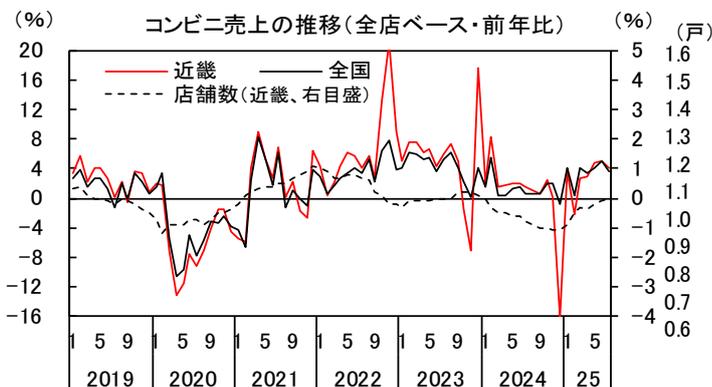
- 25年7月の百貨店売上（経済産業省）は前年比マイナス4.5%と5か月連続の減少となった。訪日客数の増加傾向は続いているものの、円高の進行などにより、インバウンド売上の伸びが鈍化した。一方、スーパー売上の7月は前年比プラス2.5%と、米価格や食料品価格の高騰などを背景に、売上が前年を上回る動きが続いている。
- コンビニ売上（経済産業省）は、7月は全店ベースで前年比プラス4.2%と5か月連続の増加となった。商品価格の値上げの影響に加え、インバウンド客の増加などもあり、売上が伸びる傾向が続いている。
- 住宅着工戸数（国土交通省）の6月は、前年比マイナス25.2%と2か月連続の減少となった（3か月移動平均）。3月の改正省エネ法導入前の駆け込み需要による反動で、前年を大きく下回る動きが続いている。
- 一部で売上が前年を上回る動きはあるが、値上げの影響が大きく、需要の強さを示すものとは言い切れない。消費の基調は依然、楽観できない状況である。



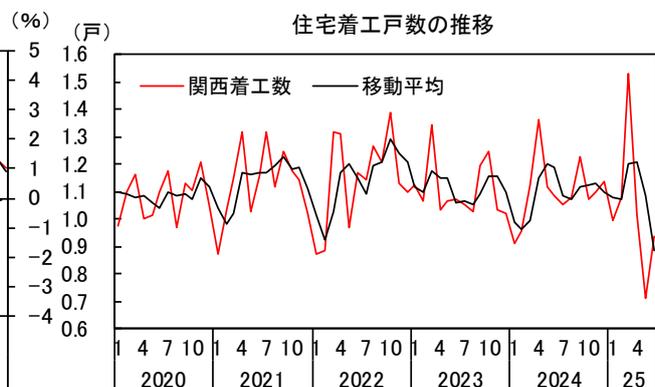
(出所)経済産業省「大型小売店販売状況」



(出所)経済産業省「大型小売店販売状況」



(出所)経済産業省



(出所)国土交通省「建築着工統計」